

# 令和7年度関東高等学校水泳競技大会水球競技【戦評】

会場: 埼玉県立大宮公園屋外水泳場【2025/7/21】

<b>準決勝2</b>	<b>神奈川工</b>	<b>15</b>	<b>16</b>	<b>明大中野</b>
2	—	4		
1	—	3		
2	—	2		
5	—	1		
5	PSO	6		
	木下晃次			
	木嶋陸駆			

審判:

この試合のプレー集計

<b>神奈川工</b>	20	SH数	20	<b>明大中野</b>
	5	速攻数	5	
	11	ST・SB	8	
	8	SH・P誘発アシスト	7	
	17%	GK阻止率	23%	
	10	EX反則数	11	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

## 【試合の流れ】

インターハイ第3シード権を有する明大中野、2022年高知インターハイ決勝でその明大中野に惜敗した神奈川工。神奈川工悲願のインターハイ制覇のカギはやはり明大中野という壁を崩せるかどうか。神奈川工の得点源は②池田、⑩仁木が中心で、他選手の関与度はやや低く、対戦チームにそうした対応されないようなスピード、ボール展開に持ち込めるか。明大中野は、この大会でのエース②武田の決定力が今一つの状態なので、周囲がカバーするとともに、②武田らしい攻撃的なプレーが戻るかどうか。特に、近距離でのパスがやや雑になって、そのボール処理に時間を浪費して攻撃展開の流れが緩む傾向がみられるだけに、どこまで修正して臨めるか。

<1P>

スタートから集中力のある明大中野。神奈川工センターSHが外れると一気に攻め上がって④上柿の中央ドライブSHで明大中野が先制。続けて、ボール奪取後の右展開から速攻で②武田、さらに神奈川工の退水SHミスに乗じて得意の右展開から⑫福井が中央ドライブでペナルティ誘発。そこを②武田が決めて3連続得点。神奈川工は明大中野GKパスマスに乗じてゴール前に迫り、エース⑩仁木がペナルティ誘発、⑦高岡が決めて1点を返すと、明大中野のコントラ反則からの速攻、最後は⑩仁木が決めて1点差に迫った。今大会の明大中野は、こうしたミスが連續して苦戦の原因を作り出している典型。しかし、少し落ち着きを取り戻した明大中野は、DF対応が改善し、神奈川工オーバータイム。そこから⑦伊藤が決めて、神奈川工2-4明大中野で第1ピリオド終了。

<2P>

スタートからの攻撃で明大中野がペナルティ誘発。しかし②武田がミス。こうしたところが明大中野のリズムがなかなか上がってこない原因だろう。それでも②武田は次の攻撃で左サイドのやや高い位置から伸びのあるシュートを決めて3点差。このあたりからの明大中野は攻撃時のパス、近距離パスがジャストにならないことが続き、時間をロス。リズムに乗れない時間帯となった。こうした影響から明大中野がコントラ反則し、そこを起点に神奈川工カウンター攻撃で⑩仁木が決めて再び2点差に戻した。再開後、神奈川工DFが甘くなったところを②武田からセンター位置の⑨杉野にわたって明大中野が追加点。さらに神奈川工パスマスに乗じて、⑧一宮がペナルティ誘発。今度は②武田が決めて、神奈川工3-7明大中野で第2ピリオド終了。

<3P>

4点差という劣勢の神奈川工は、ボール接点プレーで圧力をかけて明大中野攻撃展開を緩める展開へ。その過程でボール奪取に成功し、一気にゴール前へ攻め込み、③矢邊がペナルティ誘発。これを⑩仁木が決めて3点差に戻した。明大中野も全員攻撃で攻めてきた神奈川工の裏を突くような形で②武田が飛び出し、難なく得点して再び4点差。②武田の経験を生かしたプレーだった。対する神奈川工⑥久保田が外周で退水を誘発してそのままゴール前へ攻め上がり、そこでペナルティ誘発。⑨吉田が決めて再び3点差。明大中野も中央トップから⑤吉岡が決めて、神奈川工5-9明大中野で第3ピリオド終了。

<4P>

明大中野がピリオド最初に点を挙げればほぼ勝負は決する状況だったが、神奈川工は懸命に粘り、ボール奪取からセンター⑩仁木へ。そこを決めて3点差(5:5)。ここから双方得点を奪えず、神奈川工がオーバータイム。そこを明大中野が突いて、⑦伊藤がペナルティ誘発。②武田が決めて、再び4点差(3:39)。これで勝負あり、かと思った再開攻撃で、あっさり神奈川工⑦高岡が決めると(3:20)、俄然、神奈川工側のボルテージが急上昇。それに呑まれたかのような形で、明大中野が攻撃ミス。そこを②池田が決めて2点差(2:32)。さらに焦った明大中野が無理な位置からの②武田のシュートを神奈川工GK①中田がセーブし、そこからまたしても②池田が決めて1点差(1:46)。この試合、ほとんどSHブロックできていなかった神奈川工GK①中田がセーブしたことで、神奈川工側が一気にリズムに乗った。さらに、明大中野が焦ったシュートを起点に神奈川工側の全員攻撃。そこで退水を誘発してタイムアウト。このタイムアウト請求を巡って混乱があったが、神奈川工側は落ち着いて⑨吉田が決めて、とうとう神奈川工10-10明大中野でPSOへ。

PSO先行の明大中野が1本外したのに対し、神奈川工が2本目を外して試合決着。神奈川工15-16明大中野で明大中野が決勝進出を果たした。